

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【159】

2. 日時：令和4年4月26日 10時00分～11時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

岩崎安全審査官、照井安全審査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他14名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁の岩崎です。それではですね本日島根 2 号機のですね設工認の火山への配慮のヒアリング、始めていきたいと思います。それではですね早速ですけれども中部電力の方から、
0:00:16	説明の方よろしく願いいたします。
0:00:24	中国電力、岡田です。それでは資料の確認の方からさせていただきます。
0:00:30	すべて 4 月 21 日に提出している資料でございます。資料番号は、NS2－他－089。
0:00:41	続きまして、N－Sに合い奮起－007－3 回 01。
0:00:48	続きましてN－S2A－添 1－006 回 01。
0:00:55	続きましてNS2－. 1－006 回 01、括弧日。
0:01:02	N－SにA－を配分。018－04、甲斐 01 の五つでございます。よろしいでしょうか。
0:01:12	はい。そろっております。
0:01:17	はい。それではNS2－他－089 の資料の説明から入らせていただきます。
0:01:27	前回ヒアリングでの指摘事項に対する回答整理表でございます。
0:01:32	こちらは、広江の反映箇所反映を行っているものに関しましては、資料の方で、後程の資料の方での説明でさせていただきますので割愛させていただきますまして、それ以外について説明をさせていただきます。
0:01:48	ナンバー5。
0:01:49	になります。
0:01:51	いただいたコメントは、粒径が 4mmを超える降下火砕物が含まれる割合が少ないことについて説明することというコメントをいただいております。
0:02:00	回答としましては、こちらは仮に 4.0mmを超える粒径が含まれていた場合を考慮して記載したのですが、文献から 4mm、
0:02:11	4.0mmの粒径は、全体の 1.2%、1 から 2%程度でありまして 4.0mmを超える粒径はさらに少ないと考えています。
0:02:22	仮に、4.0mmを超える粒径の降下火砕物の降灰を想定しても、前日の通り踏まえる割合が少ないということと、津波も硬度が低くもろいことから、施設に影響を与えることはない。
0:02:35	評価しております、こちらの配慮に関する説明書人の方の記載につきましては、全厚審査プラントの記載、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:45	を踏まえまして市内における記載としても、同様な記載をしているものになります。
0:02:53	指摘事項に対する回答整理表での説明内容につきましては、以上となりまして、
0:02:59	工認記載適正化箇所の説明をさせていただきます。通しページ 3 ページをお願いいたします。
0:03:07	こちらにつきましても、
0:03:11	単純な誤記修正、記載の統一。
0:03:14	等につきまして、内容にかかわらないものに関しましては説明を割愛させていただきます。
0:03:20	内容に関わる部分で主なものについてご説明をさせていただきます。
0:03:26	ナンバー8、
0:03:28	となります。
0:03:31	こちらにつきましては、
0:03:33	海水ストレーナ、
0:03:34	の上部に設置されている。
0:03:37	竜巻の防護対策設備がありまして、この竜巻防護対策設備の下部に設置される海水ストレーナにつきましては、降下火砕物の堆積を考慮しない。
0:03:49	施設として比較表の方で記載をしておりました。
0:03:54	こちらにつきまして、先行審査プラントの整理状況等を踏まえまして、
0:04:02	竜巻防護対策設備が、降下火砕物を堆積させない機能を有する屋外施設として防護対策施設に、
0:04:11	として抽出しまして、今回、防護対策施設の荷重を考慮する施設及び、
0:04:19	腐食を考慮する施設に防護対策施設を選定し、今回記載を追加したのものになります。
0:04:28	この追加に伴いましてNo.10、めくって通しページ 4 ページ。
0:04:35	No.12、No.13、No.17。
0:04:40	めくって通しページ 5 ページ、ナンバー25、こちらが同じ、同じ理由で追加、記載の修正等を行っている箇所になります。
0:04:53	続きまして通しページ 4 ページ。
0:04:56	のナンバー15 でございます。
0:05:00	こちらの修正内容としましてディーゼル燃料移送ポンプ、
0:05:05	につきまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:09	周囲に設置している他こちら津波、竜巻防護対策設備がありますし、ありまして、
0:05:16	そちらの傾斜がかかっている、竜巻防護対策設備の中に、このディーゼルエンジンとポンプは入っております。
0:05:26	こちらの竜巻防護対策設備に関しましては、長伴が穴の開いた鋼板となっておりまして、構造が少し違いますと、
0:05:37	その構造の違いを合意しまして、
0:05:42	竜巻防護対策設備、
0:05:44	による防護期待せず、リンゼイ燃料移送ポンプ自体です自体で荷重に対して影響がないことを記載しております。
0:05:55	構造物への過剰交流施設に李前獣医師のポンプを追加いたしました。
0:06:03	この追加に伴いまして
0:06:06	次のページ 5 ページのNo.28 も同様に記載を追加しております。
0:06:16	記載の適正化箇所に関する説明については、
0:06:20	以上となります。
0:06:21	それでは、資料の内容の方の説明をさせていただきます。
0:06:29	N-Sに、
0:06:31	いたしました。
0:06:32	今日、NSにーきー007ー3 回 01 をお願いいたします。
0:06:40	基本設計方針に関する、説明資料のほうで説明させていただきます。
0:06:45	めくって通しページ、2 ページをお願いいたします。
0:06:50	工事計画認可申請書、基本設計方針括弧後の中段あたりになりますが、
0:06:57	以前、
0:07:00	その他自然現象のヒアリングの中でもご説明をさせていただいてるかと思うんですけども、
0:07:05	付番の位置について文章の
0:07:08	中、中に入り取り入れ込んだ形となっておりますがそちらを文章の一番後ろに統一した記載に修正しております。
0:07:17	以降にも修正箇所はありますが、割愛させていただきます。
0:07:27	様式 7 に関しましては、修正箇所は以上になりまして、様式 6 に関しましては記載の適正化箇所はございません。
0:07:36	基本設計方針の比較表となりまして、通しページ 35 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:45	通しページ 35 ページの基本設計方針 2 号機の基本設計方針、各変更後欄になるんですけども、こちらが先ほどの記載の適正化のNo.8、
0:07:57	として追加した、防護対策施設の記載を追加しております。
0:08:04	めくって 36 ページをお願いいたします。
0:08:08	こちらは前回ヒアリングでのコメント、
0:08:11	の回答整理表のNo.1。
0:08:14	になります。
0:08:16	流路幅のところに関しましては大きさ、絶対値十分な大きさの流路という記載に修正をしております。
0:08:26	めくって 38 ページをお願いいたします。
0:08:30	基本設計方針の変更後の肉食を考慮する施設の中に
0:08:35	先ほどの記載の適正化No. 8 とA-Aイトウ理由に、防護対策施設に係る記載を追加しております。
0:08:45	基本設計方針に関する説明資料に関しては以上となります。
0:08:53	続きまして火山への配慮に関する説明書の方説明させていただきます。N-Sにー. 1-006 回、01 になります。
0:09:07	めくって通しページ、5 ページをお願いいたします。
0:09:11	中段より上の方 2 ポツ 1 基本設計基本方針の方に修正をさせていただいておりますが、こちらは回答整理表のNo.4。
0:09:23	になります。
0:09:25	既設計基準事項等、設計基準事故対処設備等という記載について
0:09:33	定義づけする記載となるように修正をしております。
0:09:38	同じページ一番下、2 ポツ 1 ポツに設計に用いる降下火砕物特性の記載に関しまして
0:09:47	降下火砕物は粘土質がないことから水中で凝集しないという記載に修正しておりますこちらは、回答整理表のNo.6 で、理由を補足して説明することといった、
0:09:58	コメントに対しての修正になります。
0:10:03	めくって通しページ 6 ページをお願いします。
0:10:08	真ん中下の方ですね、(1)設計方針。
0:10:12	aポツ、構造物への荷重に対する設計方針の中で、
0:10:16	コメントをいただいております
0:10:20	回答整理表のナンバー7、
0:10:24	になります。
0:10:26	こちらにつきましては、建物、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:31	重複して記載しているようにも読み取れるといったこともありましたので建物がどちらに該当するのかといったものを明確になるような記載に見直しております。
0:10:45	続きまして 8 ページをお願いいたします。
0:10:49	上の方、
0:10:52	及び別添 2-2、防護対策施設の強度計算の方針というものを追加しております。こちらは防護対策施設の追加に伴いまして荷重を考慮する施設に追加しておりますので強度計算の
0:11:05	方針及び、後程説明しますが来計算書も作成しましてご説明する予定ですので、記載の方を追加しております。
0:11:14	次ページ 9 ページをお願いいたします。2 ポツに、適用規格基準等の中に、規格類を追加しております。
0:11:23	こちら防護対策施設の追加に伴い該当する使用する規格類を追加しています。
0:11:33	続きまして通しページ 12 ページをお願いいたします。
0:11:41	2 ポツ、選定の基本方針の中に、防護対策施設に係る選定の考えの記載を追加しております。
0:11:51	14 年ページ 14 ページをお願いいたします。
0:11:55	3 ポツに、外部事象防護対象施設に波及的影響およびし得る施設の(3)。
0:12:01	の取水設備の除じん機のところなんですけども、その他、以前のその他自然現象のヒアリングでも、ご説明をさせていただいてると思うんですけども、
0:12:11	除じん装置をすべて互助じん機に統一する形でしておりますので本資料においてもし、記載をすべて受信機に統一しております。
0:12:21	補足説明資料でも同様です。
0:12:26	同じページ、一番下に、3 ポツ 4 として
0:12:31	防護対策施設に係る記載を追加しております。
0:12:40	通しページ 18 ページをお願いいたします。
0:12:45	下の方で先ほど申し上げた強度計算の方針に合わせて強度計算書を作成する。
0:12:52	というところで取水槽、循環水ポンプエリア防護対策設備の強度計算書というものを記載としては、修正しております。
0:13:05	はい。通しページ 20 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:10	3 ポツ 1、降下火砕物の影響効率施設と影響因子の関連のところ、防護対策施設に係る記載を追加しておりますし、荷重を考慮する施設の記載のところと、腐食を考慮する施設のところ記載を追加しております。
0:13:27	21 ページをお願いいたします。3 ポツに影響演習高齢者施設分類のところ荷重を考慮する施設の中に、bポツで燃料移送ポンプ、
0:13:38	計ポツで循環水、失礼しました。収水槽循環水ポンプエリア防護対策設備の方を追加しております。
0:13:48	23 ページをお願いいたします。rポツでこちらは腐食を考慮する施設の方に、施設循環水ポンプエリア防護対策設備の方、記載を追加しております。
0:14:01	通しページ 26 ページをお願いいたします。
0:14:05	4 ポツ、要求機能及び性能目標のところですけども、
0:14:11	こちらが、
0:14:13	以前、コメントでいただいたコメントNo. 2、
0:14:18	絶品。
0:14:21	区切りについて明確にするために鍵括弧を用いて、
0:14:26	釘が明確になるような記載に修正をしております。
0:14:32	26 ページ中ほど 4 ポツ 1 構造物の過剰公立施設として先ほどと同様、燃料移送ポンプと、
0:14:40	循環設備と循環水ポンプエリアの防護対策設備を追加しております、
0:14:45	27 ページをお願いいたします。
0:14:48	養型(2)要求機能のところcポツとして防護対策施設に係る記載を追加しております。
0:14:56	また同じページで(3)性能目標のAAポツ設備の中に、括弧Bで、リーズン燃料移送ポンプに係る記載。
0:15:06	29 ページをお願いいたします。
0:15:10	同じく、Cポツで防護対策し、下の方ですね、cポツ、防護対策施設として防護対策施設に係る記載を、
0:15:19	追加しております。
0:15:21	また同じ 29 ページのその上の、カッコFディーゼル燃料貯蔵タンク室及びBディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の荷重の性能目標の記載につきまして、
0:15:32	こちらコメントNo. の
0:15:35	No.の 3、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:37	2、
0:15:38	を受けましてリーズニング貯蔵タンク室、またはディーゼルとタンク格納槽と、記載を省略しない記載に、色彩適正化を図っております。
0:15:50	こちらにつきましては同様な箇所も、すべてそのように修正をしております。
0:15:59	34 ページをお願いいたします。
0:16:02	それが、構造物の腐食を考慮する施設。
0:16:06	になりまして
0:16:09	設立の循環水ポンプエリアの防護対策設備を追加しております。で、 (3)性能目標、
0:16:15	の、同じく、36 ページ。
0:16:21	腐食の性能目標の記載にも、チーズの循環水ポンプ防護対策設備の方を追加しております。
0:16:31	38 ページをお願いいたします。
0:16:35	5 ポツ機能設計になりますけども、こちらは先ほどの 4 ポチ、
0:16:42	4 ポツの機能
0:16:44	要求機能及び性能目標の方で記載した箇所、
0:16:50	どうぞ。失礼いたしました。荷重を考慮する施設及び腐食を考慮する施設にそれぞれ荷重に対しては、理事燃料移送ポンプ及び、手術室の循環水ポンプへの防護対策設備、
0:17:02	色については、取水槽循環水ポンプエリア防護対策設備に係る記載を追加しておりますので詳細は割愛させていただきます。
0:17:14	はい。かばんのはへの配慮に関する説明書、
0:17:18	での説明は以上となります。
0:17:22	続きまして先行審査プラントの記載との比較表。
0:17:26	N-Sに、一添 1-00601、括弧費の方でご説明をさせていただきます。
0:17:35	めくって通しページ 1 ページをお願いいたします。
0:17:40	累計表の方を修正しております。
0:17:44	もともとは②の方に、防護対策施設に係る記載を着せ関わる内容を記載しておりましたが、防護対策施設のを追加することで、こんこの記載については、
0:17:57	削除してその他の番号を繰り上げております。
0:18:04	内容の修正に関しましては先ほどのa. 資料、
0:18:08	ファイルに関する説明書の方の内容と同じですので、ここでは割愛させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:18	比較表での説明は以上となります。
0:18:22	最後に火山への配慮に関する説明書に係る補足説明資料、
0:18:26	N-Sに配布を、-018-04回、01でご説明をさせていただきます。
0:18:37	めくって通しページ6ページをお願いいたします。
0:18:43	真ん中、
0:18:45	あたりになりますけども、
0:18:47	線防護対策施設の選定の考え方を記載を追加しております。
0:18:55	通しページ9ページをお願いいたします。表1-1になりますが、ステップ3の記載のところを、前のページ、通しページ8ページの図1-2。
0:19:07	の、ステップ3の記載と同じ記載に統一しております。
0:19:19	続きまして当時、通しページ20ページをお願いいたします。
0:19:24	表1-2、降下火砕物の影響効率施設の選定結果の中に防護対策施設を追加しております。
0:19:36	めくって通しページ50ページをお願いいたします。
0:19:40	別紙の4、ディーゼル燃料移送ポンプに係る影響評価になります。
0:19:46	こちらの1ポツ評価項目及び内容の(1)、構造物延性的負荷ということで、荷重に対する考慮。
0:19:55	影響評価のほうの記載をしております。
0:19:58	リネルートポンプは堆積しにくい形状をしているため、風の影響を受けることはないということで記載しておりまして図1を、5時、
0:20:07	次のページ51ページをお願いいたします。
0:20:11	図1のように燃料移送ポンプのカバーを設置しておりまして、堆積しにくい形状としております。
0:20:24	続きまして6、通しページ64ページをお願いいたします。
0:20:29	別紙の9建物等に係る影響評価と、の中に、前回のコメント、
0:20:36	中でNo. 8、
0:20:40	構造タンク室及び格納槽の構造について説明。
0:20:45	をすることというのを受け取っており、いただいております、構造図の方を追加しております。次のページ65ページの方に、儀礼燃料、
0:20:55	貯蔵タンク室と、加来のディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の構造について図面を
0:21:04	追加しております。
0:21:10	通しページ68ページをお願いいたします。
0:21:15	別紙の11としまして失礼さ循環水ポンプエリア防護対策設備に係る影響評価の方を追加しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:26	家財の範囲に関する補足説明に係る補足説明資料に関しましては、以上となります。
0:21:35	はい。説明は以上となります。
0:21:43	規制庁岩崎です。はいありがとうございました。それでは確認、確認移りたいと思いますが
0:21:51	Ⅱは、
0:22:02	言葉の問題が確かにもう、
0:22:06	説明書の41ページの閉塞のところでは
0:22:12	十分な大きさの流路じゃなくて、
0:22:16	流路幅を各そっか。
0:22:20	ここはあれか、ちょっと前後の言葉が違うから、流路幅。
0:22:25	このままなんですかね。
0:22:28	ここは特に中瀬基本設計方針と、
0:22:32	そろえて直すようなことは特に
0:22:36	考えて、
0:22:37	なかった。
0:22:38	というような感じですかね。
0:22:54	中国電力の長田です。ご指摘いただいておりますのは、
0:23:01	41ページの、
0:23:04	例えば5ポツの(2)のところとゆる幅。
0:23:08	はい。
0:23:12	すいませんちょっと
0:23:17	十分なり、
0:23:19	あ、はい。
0:23:21	ちょっと修正も0とされますのでは。適正化をさせていただきたいと思っております。申し訳ございません。
0:23:34	規制庁イワサキさんはわかりましたなんていうかですね括弧2もそうです(1)、もう
0:23:42	というか、括弧に全部出てくるんですカネコのか、流路幅を確保するっていうのは何かいっぱい出てくるので、何ていうか、
0:23:56	基本設計方針と文言そろえるのであればちょっとそろえていただければなと思います説明書は説明したの。
0:24:04	でも、そろえていただいた方がいいかなと思いますすいません、ちょっとご検討いただければと思いますよろしくお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:12	はい中国電力の長田です。はい資料すべて確認しまして、表現統一をさせていただきたいと思います。以上です。
0:24:22	あと次にですねコメント回答の5番の粒径の話なんですけれども、これ回答を見るに
0:24:33	基本的に
0:24:34	エビデンスというかその部分県から、
0:24:38	4mmを超えるものは、
0:24:40	ないと判断されますという超えるものはその前1%というもの。
0:24:47	文献だけのあれなんですかね。
0:24:50	ちょっとご説明いただけますか。
0:24:53	はい。中国電力の長田です。こちらの方は、はい設置許可段階で、
0:25:00	ご説明させていただいた内容にはなりますけれども、はい
0:25:05	層厚とか粒径とかそういうところのご説明をさせていただいた時に文献から、
0:25:13	4ミリが全体の12%。
0:25:16	で、
0:25:17	は今4mmまでというふうに記載をしていたんですけれども、もし4ミリを超えるものがあっても大丈夫だということで、説明書の方ちょっと先行の事例とかも確認しましてそういう記載にしておりましたので、
0:25:32	はい。説明書の方は、4mmを仮に超えた場合も考えて、そういう記載を残させていただいています。ご質問に対しましては文献から、
0:25:46	の情報ということになります。以上です。
0:25:49	規制庁イワサキ層から記者へと。
0:25:52	なんていうか例えばこの辺の説明はプラント側とユリ川の地震津波側の方でされたのかなと思うんですけれども設置許可の方で、
0:26:04	なんていうか、
0:26:07	あんまり個別に説明所内じゃなくてもいいので補足とかで何かもうちょっと詳しく説明でき、してもらうようなことは可能ですかね。
0:26:18	それでも何か、これ以上のことはもうないんですかね。
0:26:22	すいません。中国電力の鹿島と申します。今の件おっしゃられた通りですね、設置許可の段階で地震津波側の方で粒径の議論をさせていただいております、
0:26:33	先ほどご説明弊社からさせていただきましたように、サイトの中での降灰の分布がございませんので、こちら変更と同様ですね、北海道の樽前という火山を文献を参考にですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:46	ドイツ等の給源からの距離のところのデータで、粒径と割合というのを整理した図がございますので、設置許可でご説明させていただいた図をですね改めてつけて、
0:26:58	資料の方反映させていただきたいと思います。以上です。
0:27:07	聞いた時に最わかりましちょっとそうですね
0:27:11	もうちょっと詳しく、何かご説明できれば、いただければなと思いますよろしくをお願いします。
0:28:20	あ、規制庁照井です。
0:28:22	ご説明は理解をしたんですけど、そ、そうだとすると説明書の5ページの書き方が、
0:28:30	ちょっと何かもう少し書き方に工夫ができるのではないかなという。
0:28:36	気がしました。
0:28:38	その趣旨はですね2-1-2のところ、冒頭にその粒径4mm以下を設計条件として設定します。
0:28:47	と書いた上で、
0:28:48	次すぐその七尾4mmを超える影響についてはって、
0:28:53	始まるので、結局4mm、4mmじゃないのっていうのはよくわからないですよ。その4mmを超えるものについては、考慮する必要ないっていうのが増し締めなわけですけど。
0:29:10	結局その4mm以下と言ってることとの関係がですね。
0:29:14	わかりにくくなってしまってるのかなと思っていて、
0:29:18	何かこの辺の書き方、書き方をもう少し工夫できるんじゃないかなと思います。
0:29:23	ちょっと今何か来こうこうしたらいいんじゃないかみたいなことは、
0:29:27	ちょっと
0:29:28	ちょっと思いついてはいないんですけど。
0:29:38	いや、結局その4mmを超えるものってのは多分エリミネートしてるっていうのがここに書いてある通りで、
0:29:44	その割合が非常に小さいってことなんだと思うんですけど。
0:29:52	そうだとする、むしろそっちを先に書いたほうがいいような気がするんですけど、ねえ。
0:30:02	もしかしたらすみません、バラバラ言いますけどなお書きのところは、4ミリを超えるものの影響についてはっていう書き方だから、ちょっと違和感があるのかもしれない
0:30:14	降下火砕物については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:17	まず小さいっていませんその含まれる割合が小さい。
0:30:22	と言った上で、
0:30:25	そもそもその砂より硬度が低くもろいので、影響はない。
0:30:31	よってもって考慮する必要はないみたいな感じにした方が、
0:30:34	もしかしたらちょっとその、
0:30:36	誤解がなく、
0:30:38	或いは、
0:30:39	ノヨリよりわかりやすくなるかなと。
0:30:42	思います。以上です。
0:30:46	はい。中国電力の長田です。ご指摘ありがとうございます先ほどコメント回答の方でもさせていただきました仮に超えた場合とか、そういうところの説明の趣旨、
0:30:58	も踏まえましてはい。主修文の方させていただきたいと思います。以上です。
0:32:24	中国電力の長田です。しばらく音声途切れてますけれども、そちらで何かご検討いただいている状況でしょうか。規制庁ですいませんちょっとあの中で少し話をしていました。
0:32:37	申し訳ございません。ちょっと、少々お待ちいただきます。
0:33:02	規制庁照井です。
0:33:06	ところ今回ですねあのね、燃料移送ポンプを新たに、
0:33:11	構造部IIの検討対象に、
0:33:16	入れられていたと思うんですけどすみません、もう一度その
0:33:20	入れた理由、ご説明いただけますか。
0:33:31	中国電力の岡田です。
0:33:34	足説明資料の
0:33:38	もの。
0:33:39	ですね。
0:33:43	あと、すみません。失礼いたしました。資料番号N-S2-I分 018-04 回 01 になりますが、
0:34:00	ポンプの 50 ページで
0:34:06	静的負荷の記載のほうを追加させてもらっております。追加に至った経緯としましては、もともとは竜巻の防護対策施設の中
0:34:20	防護対策施設の傾斜している部分に、の中にこのポンプが設置されております。その防護対策施設、
0:34:30	に対しては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:34	防護対策施設、
0:34:36	の、設置されていて同じくですね、降下火砕物の
0:34:45	大きな侵入というものはぼ阻害されるというところで堆積を考慮する施設としては、このポンプ自体を対象から、
0:34:55	ポンプは守られると、火砕物の堆積をしない。
0:35:00	ものというふうに整理をしておりました。
0:35:04	この、
0:35:05	竜巻の防護対策施設に関しましては、
0:35:10	長坂上部に設置している防護鋼板につきましては一部ナーが開いた形状となっております、降下臭い物の侵入そのものが
0:35:23	については、ある状態になっております。
0:35:27	そういったところから、防護対策施設、
0:35:34	解析そのものを
0:35:38	完全に応募するものとせずに、
0:35:43	ポンプに体積があっても問題ないというところで整理をすることに
0:35:50	見直しまして、ポンプの影響評価、桑子荷重を考慮する。
0:35:56	ものに、ポンプを選定したといった、
0:36:01	ことでございます。以上です。中国電力のナガタですちょっと補足をさせていただきます。燃料移送ポンプ、
0:36:09	の周りにはHのNSポンプになりますけども、竜巻防護鋼板がありますんで、もともと竜巻防護鋼板が一部傾斜を持っていたり、
0:36:22	屋根があるので、降下火砕物による荷重の影響は小さいと考えておりましたが、先ほど岡田の方が申し上げましたように、
0:36:32	屋根のところは開口率が確か 30%ぐらいの、ちょっと穴あきの後半になっていることもありまして、
0:36:41	完全に体積がかからないかどうかとかそういうところをちょっと、
0:36:48	意思確認をいたしまして
0:36:50	傾斜とかで防げている部分とか、花木後半である程度防げる部分あるんですけれども、
0:36:59	対応としましては、
0:37:02	ポンプには一応かかると、荷重がかかるとしてし、一度抽出をして、さらに
0:37:08	ポンプの周りのカバーによって、
0:37:13	体積の影響がなくなるということで、説明をちょっと今回、させていただいたものです。以上になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:25	規制庁のテルイです。
0:37:29	そうすると、まず、まずですね
0:37:33	ここの、
0:37:34	通しの 51 ページであるですね。
0:37:37	燃料移送ポンプカバーと竜巻防護工は、ですか。は、
0:37:43	別物でしょうか。
0:37:47	はい中国電力の長田です。別物になります。以上です。
0:37:53	規制庁です。やっとやっと理解できました。ここの通しの 51 ページの、
0:37:59	のももう 1-1 があるって言ったらあれですけど下回り外側に、
0:38:05	竜巻防護鋼板があって、
0:38:08	その
0:38:13	中に、このカバーつきの燃料移送ポンプがあるって構造としてはそういう構造になっていて、
0:38:20	防護鋼板自体には、開口があるので、
0:38:24	その中のカバーで守るっていう、
0:38:28	そういう設計にしてるってことですか。
0:38:33	はい。中国電力の長田です。今おっしゃっていただいた通りでございます以上です。
0:38:41	規制庁の田部井です。そうすると、この
0:38:46	カバー、
0:38:48	この方は元からある既設のものでしょうか、それとも今回新設をするものでしょうか。
0:38:58	中国電力の岡田です。もともと屋外のポンプですので雨を受けるためのカバーがついております。今回堆積形状を、このような傾斜を持った形状に変更することを考えております。以上です。
0:39:16	規制庁鳥居です。わかりました。
0:39:20	ちなみにそのこのカバーの材質とか、
0:39:26	起こり、
0:39:27	まずはもしくは、あれですか、材質まではさすがにあれですか、録音だと言えない。
0:39:33	言えなければ、言えないで結構ですけど、
0:39:39	中国電力の長田です。はい。材質は金属製の鋼板を考えております。以上です。
0:39:51	規制庁の照井です。
0:39:59	そう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:02	そうすると、この、そうするとこのカバー自体の、
0:40:07	位置付けているのはどういうものになるんでしょうか。
0:40:17	はい。中国電力の長田です。もともと金属製のは、雨よけのカバーが、先ほど岡田が申しあげましたようについておりましたので、
0:40:30	はいそれをちょっと一部形状を改造するようなことで考えていましたので、
0:40:39	あまり受けカバーによって、積もりにくい構造とをするというので、
0:40:46	防護荷重もかかって、
0:40:50	こない形状にいたしますので今防護対策設備としてはエントリーしてないというそういう状況でございます以上です。
0:41:07	魚
0:41:08	規制庁のテルイです。ふうん。
0:41:18	ちょっと
0:41:20	でも結果して、
0:41:22	火山灰の影響については、ここのカバーで担保するわけですね。
0:41:32	あとその家傾斜を持たせるっていう話ですけど、
0:41:39	その傾斜で、火山灰が落ちるのかどうかもちょっと、どれぐらいの傾斜されるかちょっとよくわからないので、
0:41:48	何とも言えないんですけど。
0:41:50	例えば傾斜をつけるという事ですとかって言ったら、あれは1度ですとかって言ったら多分全然。
0:41:56	火山灰なんかオチないと思うんですね。
0:41:59	いや、なので、ちょっともう少しそのこのカバーの位置付けと、
0:42:04	どういう設計を考えられてるのかっていうのは、
0:42:08	もう少し説明をいただきたいと思うんですけどいかがですか。
0:42:16	中国電力の岡田です。カバーの形状につきましては現在検討中ございまして詳細に決まったものではありませんが、角度につきましては、建物の屋根の
0:42:29	一般的な建築物の屋根の勾配とかですね、
0:42:34	いろいろと参考にしまして経営者に傾斜の角度については検討しているところなんです。
0:42:48	いや、規制庁照井ですけど、なので、粗相だとしても、
0:42:54	例えばこういう設計にしますと当然、
0:43:00	工事計画、設工認等でですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:43:05	今まさに詳細設計をしていく中で、どういう設計或いはそのこういう設計にしますって、別にその物ができてる必要はないわけですよ。
0:43:15	なんで設計としてどういうヤマダにこの
0:43:19	カバーで、その構造物への、或いは、
0:43:23	防護対象設備への火山影響を回避しようとしているわけで、そうしたときにそれが本当に回避できるかどうかというのは、
0:43:31	やっぱりきちんと確認をしなきゃいけないと思うんですけど。
0:43:35	そう、そうなったときに、ちょっと今の、
0:43:41	資料だとちょっとそもそもど、どういうことをやろうとしてるのかわからないので、
0:43:46	ちょっとその辺をもう少し、ちょっとほ。
0:43:50	何でしょう。
0:43:51	補足して説明をしていただきたいってことなんですけど。
0:43:56	中国電力田村です。
0:44:04	中国電力田村です。ちょっとマイクオフで失礼しました。
0:44:10	このカバーで降下火砕物がつまらないことなど、ちょっと説明現在不足しておりますので、ここの、少なくともここに客土を書くとか、
0:44:22	としてつまらない構造にしますということをきちっとご説明できるようにこの資料を充実してご説明させていただきたいと思います。以上です。
0:44:37	はい、規制庁鳥居ですよろしくお願いします。
0:45:03	規制庁でちょっと中で話すんで少々お待ちください。
0:47:22	規制庁鳥居です。すいません。
0:47:25	あともう1点このカバーの件でもう1点確認したんですけどこれ
0:47:29	耐震上はどうなるんですか波及的影響で見る対象の設備になったりするんですかこのカバー自体は。
0:47:39	中国電力、田村です。Sクラスの上につけるものなので、
0:47:47	波及影響、
0:47:49	は、
0:47:50	当然考慮する必要はあるものなんですけども、設計としてはもう、これ自体を、Sクラス扱いというか耐震性を
0:48:00	確保するように設計を、
0:48:03	します。考え方としてはポンプをSクラスの増とするのと同じように、もうこの周りのカバーもSクラスをするという考え方で、波及影響の、
0:48:13	対策構造物として抽出する設備、
0:48:18	ではないと、ではないというかそうはしなくて、衛藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:23	もうこれ自体がSクラスの設備の一部として衛藤Ssに対して機能維持することで設計することを考えております。
0:48:32	材質、今検討中ですが、アルミとか軽いものにして、負荷もかからない形で設計することを考えております以上です。
0:48:44	市長、鳥井です。ちょっと、
0:48:49	そういう意味でも、
0:48:50	さっきちょっと繰り返しますけど、もうちょっともう少しこのカバーの位置付けと、等どういう設計を考えてるのかっていうのは、詳細に説明をしていただけると。
0:49:02	思います。
0:49:06	はい。中国電力の長田です。はい。火山灰が積もらないことをきちんと説明を追加をさせていただきたいと思います。
0:49:17	それから位置付けにつきましてははいちょっと
0:49:21	配管とかいろんなもの火山灰がもともと積もりにくいとしているものも評価の中でございます。
0:49:29	このカバー関係についてはちょっと先行プラント、
0:49:34	の方も確認をさせていただきまして同様に、
0:49:37	ストレーナーにカバーを、
0:49:39	積もりにくい形状としてるような例もございました。はい。その中で、
0:49:49	防対策設備火山に対する防護対策設備とは位置付けてなくて、
0:49:55	今あるもののカバーあるものといいますか
0:49:59	設備についてカバーとして、積もりにくい形状という説明をしておりましたので今、当社としては今、そのように考えています。ご指摘をいただいた
0:50:10	ちゃんとか詰まらないようにできるのかとかいうところは
0:50:16	情報設計の情報を追加をして説明をさせていただきたいと思っておりますが位置付けは今、今そのように考えております。以上です。
0:50:32	規制庁のテレイです。何度も言いますが、整理をして説明をして、資料化して説明をしてください。以上です。
0:50:42	はい。中国電力の長田です。はいご指摘踏まえまして、整理して説明させていただきます。以上です。
0:51:03	すいませんちょっと中で話すんでしょ。
0:53:43	規制庁のテレイです。すいません続いて補足の 68 ページの、
0:53:49	循環水ポンプエリアの防護対策設備の影響評価なんですけど、
0:53:55	これ、この防護対策設備の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:00	図面ってどっかにあったりしますか、それとも、
0:54:04	また別の図書ってなるんですかね。
0:54:10	中国電力の長田です。すみませんちょっと図面は、
0:54:15	現状つけておりません
0:54:19	はい。共同計算の方ではささせていただきますけどそちらの方で詳細に構造等の説明をさせていただこうと思ってましたけどここにも図面の方、
0:54:30	追加するようになりたいと思います。以上です。
0:54:35	規制庁照井ですよろしくお願いします。
0:54:39	ちょっと興奮ここで、前回今回付けていただきましたけど、
0:54:46	ディーゼルポンプ室ですか。燃料、燃料タンクだけ。
0:54:52	もう前回、その追加しましたと言って図面がなくて図面つけてねって。
0:54:57	言ったと思うんですけど。
0:55:00	結局
0:55:01	追加されたこと等、
0:55:04	なぜ、口頭でご説明いただいておりますけど、図面を見てですね、その言ってることが、どういうことなんだろうって我々もちゃんと理解をしたいわけですよ。
0:55:15	なので、ここ、
0:55:17	この資料で基本的に図面、説明と図面がセットで作られてると思うので、
0:55:24	その
0:55:26	ちゃんと図面もつけてください。何でその結局その、
0:55:30	その設計というかその設計方針みたいなところは、初回でこれを追加しましたって説明して、
0:55:36	図面は図面で、2回目のヒアリングで、図面だけつけましたっていう説明になっていて、
0:55:44	いや、やろうとしてることと、
0:55:47	突き合わせてみたいわけですよ、我々も。なのでちょっとその辺はしっかりやってください。以上です。
0:55:54	中国電力田村です。はい。ご指摘の通りだと思いますすみませんちょっと後手に回っており、ちょっと、はい説明が片手落ちになっておりましたちょっと注意したいと思います。以上です。
0:56:11	規制庁テルイです。今後そんなにその評価対象が増えるみたいなことはあまりないと思ってますけど、今後はぜひよろしく願いしたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:24	はい、了解しました。
0:56:51	規制庁照井です。
0:56:53	補足の7でちょっと今この話の続き、65ページでですね、ディーゼル燃料貯蔵タンク室の図面を追加していただいたんですけど、
0:57:05	ちょっと前回の復習みたいな感じになるんですけど、
0:57:12	ちょっと図面も出てきたってことで、
0:57:14	改めて、そもそも何でこの子、今回そのディーゼル貯蔵タンク室を追加することになってっていうところを少し構造図とセットで説明をしていただけますか。
0:57:31	はい。中国電力の長田です。
0:57:35	はい。65ページ、ちょっと
0:57:38	マスクで囲っておりますけれども、もともとBの方の格納槽、Eのディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の方に、
0:57:49	地上面からちょっと上に出たところ、ポンプが、
0:57:53	空いてるところですけども
0:57:56	コンクリート躯体が地上に出ると。その評価が、やはり体積評価が要るということで、まず考えたんですけども
0:58:06	それに伴いまして丹空自体も、
0:58:14	地下にはあるんですけども、上盤がございますので、そこに対して荷重、
0:58:21	が、やはり
0:58:23	火山灰が乗りますのでそこも
0:58:27	タンク室格納槽として評価が必要と考えて追加をさせていただいたという経緯でございます。以上です。
0:58:39	規制庁テルイです。ありがとうございます。
0:58:41	ちょっと確認ですけど
0:58:44	Bディーゼル年齢層の層、左側の絵ですけどちょっとマスキングなんでどう聞いていいかあれなんですけど、
0:58:53	5、
0:58:57	左側に、多分、すみません、ちょっと手元にある資料が小さくて、
0:59:03	違う時間見えないんですけど、左側多分、エレベーションを示す線が三つあると。
0:59:10	一通あると思うんですけど、マンなかーら辺がこれグラウンドレベルと見ればいいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:20	はい中国電力の長田です。はい。真ん中がグランドレベルになります。以上です。
0:59:27	規制庁、照井です。そうするとだからそこより上にある部分っていうのがその地表面に出てる部分になってその部分の、
0:59:37	評価をすするとする、する。
0:59:40	ということで、入れたっていう理解をしておけばいいということですかね。
0:59:47	はい。中国電力の長田です。はい。ご理解の通りでございます。以上です。
0:59:52	規制庁の照井です。わかりました。
0:59:58	はい。ということでですね、ちょっと図面があると非常に我々もわかりやすく、やろうとすることが理解できるので、すみません、繰り返し同じこと言って申し訳ないんですけどもぜひ、よろしくお願ひしたいと思います。
1:00:14	はい。中国電力の長田です。はい。何度も同じコメントいただいてしまって申し訳ございません反映させていただきます。以上です。
1:00:29	規制庁の照井です。
1:00:37	ちなみにさっきの 50 ページの話に戻りますけど、
1:00:41	この対象としてるディーゼル燃料移送ポンプっていうのは、
1:00:47	1、
1:00:49	だけでいいってことですか或いはこの 50 ページの作り方なのかもしれないですね、(1)の構造物への静的負荷のところだけが 1 で、
1:00:59	それ以外はABエチゼン分っていう、
1:01:03	ことでいいんです。
1:01:08	はい。中国電力の永田です。ご指摘の通りで先ほどの図面と照らしましてBの方は、
1:01:18	格納槽の上のところ、
1:01:21	の部分がございますので、
1:01:24	はい。すみませんこれ、この辺もきちんと対象を、カバーをつける対象。
1:01:30	を記載するように、資料を修正させていただきたいと思います。以上です。
1:01:37	はい。規制庁のサポートの評価結果を見ればHPで扱いが違うってのはわかるんですけど、
1:01:44	そうであればそのBBの方の説明もするとかですね或いはその(1)のところ、もしかしたら、書き分ける必要があるのかどうかはよくわかんないんですけど、ちょっとその、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:55	対象とがわかりやすくなるようにしていただければ我々も理解も進むかなと思いますのでよろしくお願いします。
1:02:05	中国電力の永田です。修正をさせていただきます以上です。
1:02:20	規制庁の照井です。その流れですね、補足の 43 ページ。
1:02:28	DGの
1:02:30	吸気管とか排気消音管なんですけど、
1:02:34	これもは、
1:02:36	排気消音。
1:02:38	きっと排気管って、
1:02:40	堆積しにくい形状しているためってあるんですけど。
1:02:45	河南で多分、
1:02:51	管だからってことなんだと思うんでは、特に排気管の方はですね。
1:02:54	だと思んですけど、これも少し、
1:02:58	これって何かどっか図面あるんでしたっけ。
1:03:05	中国電力岡田です。補足説明資料の通しページ 30 ページをお願いいたします。
1:03:13	こちら写真になるんですけども、ディーゼル発電機の排気消音器と排気管の構造がわかる写真を載せております。
1:03:23	このように円筒形の横置のものが設置されております。
1:03:29	ハイパーと同様円筒形ですので退席しにくいというふうに評価しております。以上です。
1:03:36	いや、辻野ですわかりました。
1:03:39	もし可能であればなんですけどさ、43 ページの方ですね、43 ページのところに、また書きの方ですね。
1:03:48	図の図の 2-8、今ご説明いただいた 30 ページの図の 2-8 をリファーしていただくことってできますか。
1:03:57	中国電力岡田です。はい。ご指摘の通り、通し記載の方を修正したいと思います。以上です。
1:04:04	規制庁の照井ですよろしくお願いします。
1:04:11	少々お待ちください。
1:04:48	規制庁矢崎です期初からは以上となります。
1:04:53	10 電力から何かございますでしょうか。
1:05:01	はい。中国電力の長田です。こちらからは特にございません。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:06	それ、承知いたしました。江藤明ちやいますけど、それでは本日の指摘の確認に移りたいと思います。
1:05:15	のでご準備できましたら画面共有の方よろしくお願ひします。
1:05:20	中国電力イタイガワです。画面のほう経由いたしますので少々お待ちください。
1:05:49	中国電力岡田です。画面共有の方はよろしいでしょうか。
1:05:53	きちやイワサキですはい。見えております。
1:05:58	はい。それではコメント内容について、確認させていただきます。ナンバー1、
1:06:04	資料はN-S2-添1-09の1ページ41ページになります。
1:06:10	詰所の流用カバーに関する記載について本文との記載を合わせ、説明すること。
1:06:16	全部
1:06:18	はい。
1:06:20	です。ナンバー2、N-Sに、こちらと同じくN-S2-添1-0努力、年ページ5ページにいただいたコメントです
1:06:30	4mmを超える工作についての根拠を補足説明資料等で詳しく説明すること。
1:06:35	ナンバー3も4mmを超える部分についてなんですけども前日の設計条件と設定した4mmとの整合性がわかるように説明すること。
1:06:44	ナンバー4、N-S、2-5-018-04。
1:06:51	通しページ51ページ。
1:06:53	になります。燃料移送ポンプカバーの位置付け及び形状設計方針について整理し説明すること。
1:06:59	ナンバー5NS2-ホ-018-04、1ページ68ページ、純化。
1:07:08	市水道循環水ポンプエリア防護対策設備の図面の追加をし、説明をすること。
1:07:14	ナンバー6N-S2-補-018-04、1ページ50ページ。
1:07:21	評価項目及び内容について原子力サイショポンプを明確にし、説明すること。
1:07:27	ナンバー7、N-S2-ホ-018-04の通しページ43ページ、排気消音器の外観についてご報告された耐震化しにくいことを、図の2-8を参照して説明すること。
1:07:41	以上の7点でございます。
1:07:44	よろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:51	規制庁イワサキで差配確認ですけど、コメントの2番の、
1:07:58	根拠を詳しく説明して欲しいなんか4ミリ超えるというか
1:08:03	4、設計条件として4mm以下としてしている。
1:08:07	地べた側での説明した時、
1:08:11	の根拠も含んでいるっていう認識なんですけど同じ認識でいいですかね。
1:08:20	中国電力田村です。はい。
1:08:24	地べた側で説明した資料の抜粋で補足説明資料を作成してご説明させていただくという意味で、根拠と記載しております。なので認識一致していると考えております以上です。
1:08:38	で90イワサキ差であれば大丈夫ですはいありがとうございます。
1:08:49	規制庁ヤスTogether、こちらからはこれでよろしいかと思えます。チェック電力は何かございますか。
1:09:01	中国電力の長田です。こちらから特にございませぬ。以上です。
1:09:09	あ、
1:09:10	規制庁テルイです。四つめコメントの四つ目で今形状設計方針について整理して書いてあるんですけど、
1:09:19	まずは、多分そのどういう形状なんですかっていうのと、堆積しにくい構造ということなんですけど、構造によっては当然そのポンプに経験あるんですかどうですかみたいなのところも、
1:09:31	あると思うので、
1:09:35	とりあえず、まずは形状ではありますけど、その前、
1:09:39	そうですね。
1:09:42	形状以外にももし説明するべきことがあるのであれば、それは説明をしていただければと思いますので、
1:09:49	今ちょっとなどのって入れていただきましたけど
1:09:52	そういう趣旨ですのでよろしくお願ひします。
1:09:57	はい。中国電力の長田です。はい。コメントのご趣旨を踏まえまして、説明をさせていただきます。以上です。
1:10:10	規制庁岩崎です
1:10:12	それでは、こちらから特にもうございませぬけれども中国電力から何かございますか。
1:10:24	中国電力の長田です。はいこちらからも特にございませぬ。以上です。
1:10:30	はい。それではですぬ本日のヒアリング終了したいと思います。本日ちょっと開始遅れてしまつて申し訳ございませぬでした坂ありがとうございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:10:41	ありがとうございました。どうもありがとうございました。
---------	-----------------------------

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。